



司ボランティア

～寄付150回を迎える～



高齢者施設などで歌謡ショーを行っている「司ボランティア」代表の薄井静雄さんは、様々な施設にパンを寄付する活動をしています。困っている人や社会的ハンディキャップがある人に、笑顔になってもらいたいという思いで続けているそうです。

7月17日（金）には多機能型事業所「心の里」へパンを届けました。令和6年2月から始めた寄付活動も、この日で150回を迎えました。



▲きらむぎのパンを届けています



▲寄付先からのお礼の手紙

薄井さんは、「施設のスタッフや子どもたちからのお礼の手紙や絵、感謝の声が励みになっている」と話され、次は300回を目標に続けていきたいと意気込んでいました。また、パン・アキモトの理解と協力があってこの活動が続けられているとのことで、施設のスタッフや子どもたちからの手紙や絵をパン・アキモトにも届けているとのことです。

心の里の飯田施設長は、「買い物に行く機会が少ない利用者の楽しみになっている。また、パンを届けてくれることで地域の方が施設を見守ってくれているという安心感がある」と話しておられました。

